

宇都宮工場

1. 事業概要

住所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地22-2
従業員数	450名 (2017年12月現在)
敷地面積	145,479㎡ (建築面積76,667㎡)
操業	1969年5月
事業内容	当工場は、当社で国内唯一のコンバイン・乗用田植機という作業機の製造をしている工場です。これら製品は季節性を特徴としており、工場ではお客様が必要なときに、必要なものを必要なだけ出荷できるモノづくり、すなわち年間を通じ量変動をさせる生産体制をとっております。また海外に関しては、中国・タイ製造拠点でのマザー工場であり、アジアを中心にグローバルな事業展開をする上で、核となる工場となっております。



主要製品

NW6S(6乗機) NW8S(8乗機)
NAVIWEL
ナビウェル

すべてを覚えるために、すべてが変わりました。



- ・コンバイン
 - ・田植機
- 等

ありがとう、
クボタコンバイン販売50年。



Agri Robo

WRH1200A

FarmPilot

馬力

120馬力

稲・麦の収穫に「匠」の技。
自動運転アシスト始まる!



宇都宮工場

2.環境方針

ISO環境方針

理 念

私たちは「地球規模で持続的な発展が可能な社会」「企業と市民が相互信頼のもとに共生する社会」の実現をめざし、地球環境の保全に配慮した企業活動を行います。

方 針

宇都宮工場は、農業機械及び周辺機器の製造とサービスにおけるあらゆるプロセスにおいて環境マネジメントシステムを確立・維持することにより、地球環境の保全に配慮した企業活動を実施いたします。

具体的推進案

1. 原材料の購入から使用、廃棄、回収と生産及びサービスの各段階において汚染の予防に努めます。また、生産方法の改善、使用原材料の見直し等、長期的で幅広い観点からの施策を実施し、環境負荷の継続的改善に努めます。
2. 国、地方自治体等の環境関連法・条例規制の遵守は勿論のこと、同意したその他の要求事項についても自主管理基準を設定し、維持することに努めます。
3. 環境負荷を低減するために、技術的、経済的に可能な範囲で達成すべき目標を定め、確実に実施するための環境マネジメントプログラムを明確にします。また、その実施状況を定期的に確認し、見直しを行うように努めます。
4. 環境管理活動の重要性を全従業員（従業員、協力会社社員、派遣社員、請負者含む）に徹底し、環境保全に対する意識の向上に努めます。
5. 地域での環境保全活動への参画、支援に積極的に取り組み、地域との共生に努めます。
6. この環境方針は、社会への責任を示すために、一般の人が求めに応じて入手可能なものとします。

2018年 1月1日
株式会社クボタ宇都宮工場
工場長 三浦 昇司

ISO認証取得状況

ISO14001認証を2000年12月に取得しました。そして2017年12月に2015年度版への更新を完了しました。6か月ごとの外部サーベイランスと年2回の内部監査を実施して、環境マネジメントシステムの適切性を評価しています。

内部監査員は監査員教育を受けたメンバーで構成し、相互監査を通じて環境保全のレベルアップに取り組んでいます。

2000年12月	ISO14001認証取得
2005年 6月	2004年度版移行審査受審
2006年12月	第2回更新審査終了
2009年12月	第3回更新審査終了
2012年12月	第4回更新審査終了
2015年 9月	第5回更新審査終了
2017年12月	2015年度版へ移行
2018年 9月	第6回更新審査予定

宇都宮工場

3.サイトデータ(2017年1月～12月の実績)

INPUT

※製品に充てんした燃料も集計対象に加えています。

エネルギー使用量	原油換算 KL	2,732
水使用量	万m ³	7.0

OUTPUT

エネルギー起源CO ₂ 排出量	t-CO ₂	5,427
----------------------------	-------------------	-------

排出ガス	主要ばい煙発生施設		ボイラー		
	項目	単位	規制内容	規制値	測定値
SOx	—		硫黄分ゼロの都市ガス使用		
NOx	ppm		濃度規制	150	31
ばいじん	g/m ³ N		濃度規制	0.1	0.001

排水量	合計量	万m ³	10.5
汚濁負荷量	COD	kg/年	—
	窒素	kg/年	—
	りん	kg/年	—

排水	放流先	項目	単位	末端排水口	
				規制値	測定値
公共用水域		pH	最小値, 最大値	5.8～8.6	6.9～7.7
		BOD	mg/l	25	10
		COD	mg/l	—	—
		窒素	mg/l	—	—
		りん	mg/l	—	—
		六価クロム	mg/l	—	—
		鉛	mg/l	—	—
		COD総量規制値	kg/日	—	—
		窒素総量規制値	kg/日	—	—
		りん総量規制値	kg/日	—	—
		下水道		pH	最小値, 最大値
BOD	mg/l			—	—
COD	mg/l			—	—
SS	mg/l			—	—

廃棄物排出量	t	260
再資源化率	%	99.7

VOC排出量	t	17
--------	---	----

PRTR法対象物質集計結果

単位: kg/年

政令No.	物質名称	排出量				移動量	
		大気	公共用水域	土壌	自社埋立	下水道	場外移動
53	エチルベンゼン	4,108	0.0	0.0	0.0	0.0	3,352
80	キシレン	8,365	0.0	0.0	0.0	0.0	6,825
296	1,2,4-トリメチルベンゼン	3,406	0.0	0.0	0.0	0.0	2,779
297	1,3,5-トリメチルベンゼン	895	0.0	0.0	0.0	0.0	730
300	トルエン	202	0.0	0.0	0.0	0.0	165
302	ナフタレン	1,294	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

※ 拠点ごとの年間取扱量が1t(特定第1種は0.5t)以上の物質について集計

宇都宮工場

4.環境トピックス

【工場のLED化推進】～施工に伴う運用基準改善～

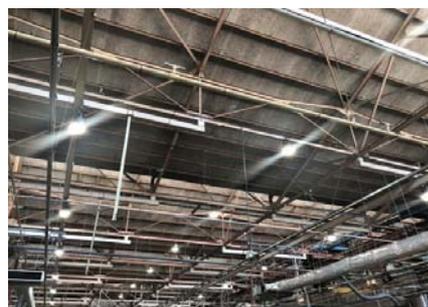
1. 局所照明器具から全体照明器具への切替
蛍光灯から高天井のLEDに切り替えることで取付け範囲全体で均一の照度を確保しレイアウト変更時の個別照明の追加が今後は不要。
2. JIS照度基準を引用し各職場の照度基準を設定
照度基準を設ける事で過度な照明器具を削減。
3. 人感センサー付きの照明器具をインフラスペースに採用
トイレ・階段・通路等に人感センサー式の自動点灯・消灯の器具を設置し消し忘れによる電力の無駄を防止。



従来の照明設置状況

<従来>

従来のピッキング職場。作業者の進行方向と平行な通路に蛍光灯が設置されている。写真中の蛍光灯では器具の直下しか十分な照度を確保できず、レイアウト変更時には器具の移設・増加を要する。



高天井のLED設置状況

<新運用基準>

高天井LED化にて器具更新を実施したピッキング職場。設置範囲内の照度は概ね基準どおりとなった。レイアウト変更による職場の照度への影響は少なく、職場の再構築に自由度が増す。

5.環境コミュニケーション

当社の企業活動は顧客および地域住民の協力なくして成り立たないと認識し、下記活動などを通じて地域との融和に努めています。



2017ジャパンカップサイクルロードレース クリテリウムでの立哨ボランティア参加

実施日：2017年10月21日

参加者：66名

クリテリウムにおける立哨ボランティア(会場準備・解体、立哨)および終了後の清掃作業。



ゴミクリーン作戦と歴史散歩

実施日：2017年11月12日

参加者：16名

工業団地で働く人、家族によるゴミクリーン作戦を展開。併せて歴史的史跡を訪ねる。今回は宇都宮市街の散策を兼ねて繁華街を清掃。